

厚生補導施設に関するアンケート調査結果について

I. 第3常置委員会は、先般「厚生補導施設に関するアンケート」調査を実施した。調査項目は福利施設、課外活動施設、学生寄宿舍等について現況と整備計画を伺うとともに、問題点があれば記して頂くことをお願いし、全大学から回答を得た。

9月27日の当委員会小委員会において全回答を報告し内容を集約した。以下に整備計画と問題点についてのみ集約の結果を示す。

[整備計画]

1. 福利施設

(1) 福利施設 12件(新設1, 移転整備3, 増改築6, 改修2,)

(食堂を含む)

(2) 福利施設の整備を検討中 3件

2. 課外活動施設

(1) 課外活動共用施設 17件(新設9, 移転整備2, 増改築6,)

(2) 合宿所 5件(新設1, 移転整備1, 増改築3,)

(3) その他の施設 2件(新設1, 移転整備1,)

(4) 課外活動施設の整備を検討中 3件

(うち地区共同合宿研修施設 2件, 新設1, 改修1,)

3. 大学会館(福利・課外活動複合施設) 5件(新設2, 移転整備1, 増改築1, 改修1,)

4. 学生寄宿舍

(1) 混住宿舍 18件(新設12, 移転整備1, 増改築5,)

(外国人留学生と日本人学生との混住)

(2) 学生宿舍(新規格寮) 6件(新設4, 建替1, 改修1,)

(3) 世帯宿舍 1件(新設1,)

(4) 学生寄宿舍の整備を検討中 5件

[問 題 点]

1. 各施設共通事項

- (1) 施設・整備の老朽化
- (2) 基準面積の不足による狭隘
- (3) 概算要求において教育研究施設が優先され厚生補導施設は後まわしにされる
- (4) 管理運営予算の不足
- (5) 管理運営要員の不足
- (6) そ の 他
 - 施設の老朽に対する消防署の指摘
 - 基準面積算出にあたり大学の立地環境に応じた弾力的運用
 - キャンパスが分散しているため保有面積が十分でない
 - キャンパス移転計画があるため整備ができない
 - 厚生補導施設を整備し、学生のニーズに応える施設づくりが「魅力ある大学」の重要な要素である。

2. 福利厚生施設

- (1) 学生数の増に伴う食堂の狭隘
- (2) そ の 他
 - 昼休みが40分のため食堂が混雑
 - 食堂の老朽に対する保健所の改善指導

3. 課外活動施設

- (1) プレハブ施設の集約建替
- (2) 多様化するサークル活動に伴うクラブ増による施設の不足
- (3) そ の 他
 - 課外活動施設の使用方法に問題
 - 課外活動の地域住民に対する騒音問題

4. 学生寄宿者

- (1) 外国人留学生増に伴う日本人学生との混住宿舎の新設
- (2) 老朽寮の混住宿舎への建替
- (3) 女子学生増に伴う女子宿舎の新設、増築
- (4) 大学院学生宿舎の新設

大学はよき教育と研究の行われる場であることは当然であるが、それだけでは学生にとって魅力あるものとはならない。居住性のよいキャンパス、課外活動のニーズにも応えてくれるキャンパス、そして何よりも清潔な雰囲気、それらが総合されて真に魅力ある大学になる。DJで著名なM・Robertson氏は東京大学に入ってはみたものの建物の汚さに辟易して二週間でやめてしまいハーヴァード大学に入り直したという（10月23日6：40～7：00amNHKラジオ英会話におけるインタビューから）。私たちは食堂やら売店やら、その狭さ汚さに馴れすぎてしまったのかもしれない。

今後このアンケート結果を詳しく分析し必要な調査も行いながら厚生補導施設の充実について委員会見解を出してみたい。